

關楠生 <sup>せき</sup> 續譯家。大正十二年七月十五日靜岡縣生れ（一九二四）。

父はドイツ文學者關泰祐。昭和二十一年東京帝國大學文學部獨文料卒。水戸高等學校教授、千葉大學助教を経て獨協大學教授。

譯書、トオマス・マン作『コリアウス下博士』全二冊（關泰祐共譯、昭和二十七年十一月十日）二十九年十二月二十日岩波書店「岩波現代叢書」）、

ハンス・ブウマン作『草原の夕べ』全二冊（上・昭和二十二年二月十一日、下・三月十一日岩波書店「岩波少年文庫」）、ゼツ

プ・シユラー著『瀆作者・商人・専門家』（昭和二十六年四月二十五日河出書房新社）、エーゴン・ヤニス著『世界城塞物語』（共訳、昭和二十七年二月十日河出書房新社）、シユライバー著『道の文化史』

一つの交響曲』（昭和二十七年六月十五日岩波書店）、G・フォイス

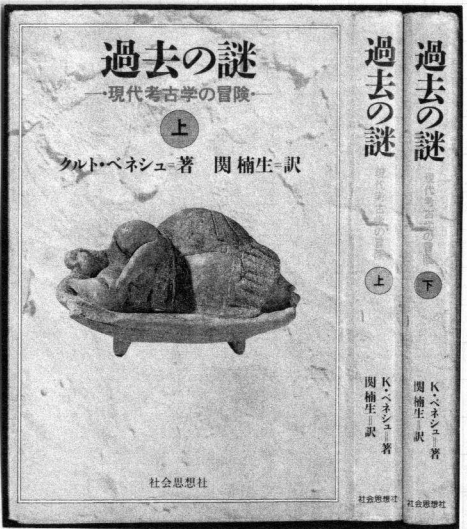
テル作『小さなホセとロズの旅』（昭和四十四年七月十日岩波書店）

「岩波おぼなしの本」）、ヘルマン・シユライバー著『羞恥心の文化史』腰布のらビキニまぶ』（昭和四十八年二月二十日河出書房新社）、

ハンス・ブウマン作『ローリーカロスのつばき』（昭和五十四年七月九日岩波書店「岩波の愛蔵版」）、ケルト・ベネシユ著『過去の謎—現代

考古学の冒険』全二冊（上、下・昭和

五十七年七月二十日社会思想社）等。



過去の謎  
 過去の謎  
 上  
 下  
 K・ベネシュ 著  
 関楠生 訳  
 K・ベネシュ 著  
 関楠生 訳  
 社会思想社  
 社会思想社